

桂学区



データファイル

- 人口 8,723人
 - 世帯数 3,631世帯
 - 面積 0.587km²
- *平成17年国勢調査(10月1日現在)



西京区の玄関「桂学区」。更なる安心・安全を目指して

西京区誕生30周年、おめでとうございます。
わがまち『桂学区』は西京区内の17学区・地域の中で一番歴史が古く、めまぐるしく発展してきました。その中核である桂小学校は、明治5年上桂村千光寺に産声をあげ、明治34年、現在の場所に校舎を移し、昭和9年、室戸台風の甚大な被害の後、校舎改築及び学校敷地の拡大が行われ、名称を桂林校→桂村尋常小学校→桂尋常高等小学校（葛野第二高等小学校を合併）→京都市立桂尋常高等小学校→桂国民学校と変え、現在の京都市立桂小学校と改称されたのが昭和22年のことです。以後、人口の増加により、桂学区は現在の「桂」、「桂東」（昭和43年）、西京区の誕生と同時に「桂川」（昭和51年）、「桂徳」（昭和60年）の各学区へと分かれてきました。

阪急電車が開通し、西京区の玄関口といえる桂駅ができたのは昭和3年。桂学区の元となる葛野郡の京都市への編入は昭和6年。以後宅地化が進んでいきます。特に、昭和40年の国道9号全線開通、47年からの洛西ニュータウンの開発を経て、急速に発展。平成の初めまで、豪雨による浸水被害の多発した時期がありました

が、西羽束師川、新川の改修事業により、地域住民が安心して暮らせるようになりました。

桂学区では、自治連合会をはじめ各種団体・各自治会の活発な活動を通じ、学校と地域・親子・地域と子ども達との《ふれあい》《つながりあい》《むすびあい》《たすけあい》《ささえあい》を目的に、地域の【絆】を大切に誰かが安心して安全に生活できる桂地域を目指しています。そのひとつが、西京区で一番早く発足させた【桂みまもり隊】の活動であり、児童の登下校時間を重点的に、地域の見守りと防犯パトロールを実施し、住民同士や子ども達との声かけにより、全ての桂学区の住民が強い絆と信頼によって連携を深め、地域力の構築に努めています。

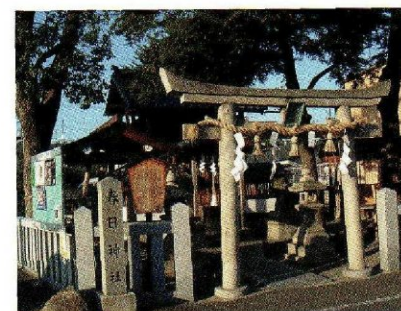
また、地域コミュニティの活用のもと、平成元年に全市に先駆けてルネッサンス事業として設置された桂小学校地域文化センター（現桂ふれあいサロン）を拠点に、各種団体を中心に地域住民が大いに利用して、発展を遂げてきた『桂』の歴史を誇りに、桂地域の【絆】を深める活動を展開していきます。



昭和3年当時の桂駅



現在の桂駅（西口）



春日神社



千代原中心の
愛宕神社の灯籠



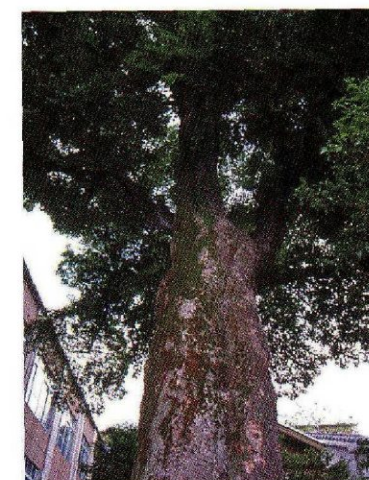
地域行事での【桂みまもり隊】（統一ベスト着用）



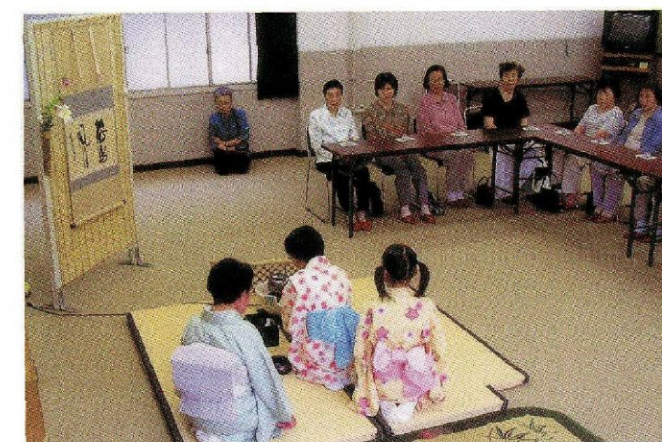
【桂みまもり隊】に見守られての下校風景（桂小学校前）



自転車プレートが700台、玄関プレートが600軒、その他自家用車にも取り付けられていて、地域の安全を見守っています。



平成7年度選定京都市立学校・幼稚園
鈴木百選 樹齢150年以上のエノキ



ふれあいサロン「児童と高齢者の交流茶会」